

10 データセレクト

10年間の主要財務データ

(単位：百万円)

年度	JGAAP	IFRS								
	2015	2016 ^{※9}	2017 ^{※9}	2018 ^{※9}	2019	2020	2021	2022	2023	2024
売上収益 ^{※1}	2,196,925	1,853,937	1,863,730	1,930,522	1,941,305	1,849,545	1,821,570	1,989,468	2,134,393	2,338,385
うち酒税	305,697	296,029	289,433	294,028	292,153	276,932	285,600	284,435	279,508	286,886
純売上収益	1,891,227	1,557,909	1,574,296	1,636,494	1,649,151	1,572,613	1,535,969	1,705,033	1,854,885	2,051,499
事業利益 ^{※2}	—	181,982	194,609	199,327	190,754	162,115	165,430	191,159	201,495	210,968
営業利益	124,751	196,590	211,000	198,322	87,727	102,919	68,084	116,019	150,294	125,340
のれん等償却前営業利益	158,537	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平準化EBITDA ^{※3}	258,922	257,612	272,301	279,907	272,619	243,959	245,879	277,695	293,039	309,012
経常利益	128,199	—	—	—	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に帰属する当期利益 ^{※1}	-47,329	148,918	241,991	164,202	59,642	71,935	59,790	111,007	112,697	58,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,011	232,263	221,710	198,051	178,826	164,839	219,303	135,562	203,206	242,844
投資活動によるキャッシュ・フロー	-70,659	-82,656	63,214	47,389	-175,619	-115,981	-56,408	-10,399	-226,091	-329,375
財務活動によるキャッシュ・フロー	-78,221	-157,271	-182,163	-226,699	-9,997	-52,474	-180,463	-167,835	35,909	58,125

年度末

総資産	2,443,773	2,422,825	2,398,572	2,303,624	2,412,874	2,459,363	2,471,933	2,542,263	2,869,585	3,354,159
有利子負債	821,478	668,212	486,475	414,994	530,851	642,644	551,471	523,121	656,397	857,569
親会社の所有者に帰属する持分 ^{※1}	663,842	695,860	947,162	906,578	906,576	838,584	894,179	980,022	1,132,581	1,181,525

株価情報

最高株価	1,915.00	1,984.50	2,948.50	3,199.00	2,729.00	2,591.00	2,430.00	2,306.00	2,245.00	2,310.00
最低株価	1,400.00	1,436.50	1,792.00	2,163.00	2,033.00	1,826.00	1,788.00	1,739.00	1,906.00	1,896.00
株主総利回り(%) ^{※4}	—	—	—	—	106.8	111.5	88.8	98.9	104.4	100.0

1株当たり情報

1株当たり当期利益 (EPS) (円)	-51.87	163.19	265.17	183.57	68.00	85.57	71.73	135.08	139.16	72
平準化EPS (円) ^{※5}	117	139	151	167	158	136	156	171	177	172
のれん等償却前EPS (円)	-2.83	—	—	—	—	—	—	—	—	—
配当金 (円)	38.00	39.00	46.00	51.00	64.00	65.00	65.00	69.00	71.00	71.00

財務指標

ROE (%) ^{※6}	-0.3	22.2	29.5	17.7	6.6	8.2	6.9	11.8	10.7	5.0
ROIC (%) ^{※7}	—	10.8	16.3	12.0	5.2	6.0	4.2	8.5	8.0	4.1
のれん等償却前営業利益/純売上高 (%)	8.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
純有利子負債/平準化EBITDA (倍)	2.67	2.21	1.19	0.86	—	—	—	—	—	—
グロスDEレシオ (倍)	—	—	—	0.46	0.59	0.77	0.62	0.53	0.58	0.73
連結配当性向 (%) ^{※8}	32.5	28.1	30.5	30.5	40.5	47.8	41.7	40.4	40.1	98.8

※1 売上収益、親会社の所有者に帰属する当期利益、親会社の所有者に帰属する持分について、2015年以前は日本基準の売上高、当期純利益、自己資本(純資産-非支配株主持分-新株予約権(連結貸借対照表での記載))の数値を表示しています。

※2 事業の経常的な業績を測る利益指標で、売上収益から売上原価ならびに販売費および一般管理費を控除して計算しています。

※3 2015年以前:平準化EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+持分法適用関連会社からの受取配当金
2016年以降:事業利益+減価償却費および償却費(2019年以降は使用権資産の償却費を除く)+持分法適用会社からの受取配当金

※4 2024年12月期有価証券報告書と同様、直近5事業年度に係る株主総利回りを算出しています。

※5 平準化EPS=平準化当期利益(2015年以前は平準化当期純利益) / 期中平均株式数
2015年以前:平準化当期純利益=当期純利益+のれん等償却額+税金等調整後特別損益
2016年以降:平準化当期利益=親会社の所有者に帰属する当期利益+税金等調整後その他の営業収益・費用等

※6 2015年以前のROEはのれん等償却前の数字であり、キャッシュの流出を伴わない損失等については除いた数値で算出しています。

※7 ROIC=利払前税引後利益 / (有利子負債の期首期末平均+資本合計の期首期末平均)

※8 2010年度からの配当性向はのれん等償却前EPSに対する数字であり、キャッシュの流出を伴わない損失等については除いた数値で算出しています。
2012年度からの連結配当性向は平準化EPSに対する数値を表示しています。

※9 企業結合で取得した無形資産に関する税効果について、2019年度に会計方針を変更したことに伴い、2016年度、2017年度および2018年度の財務数値を遡及修正しています。

事業全体の状況

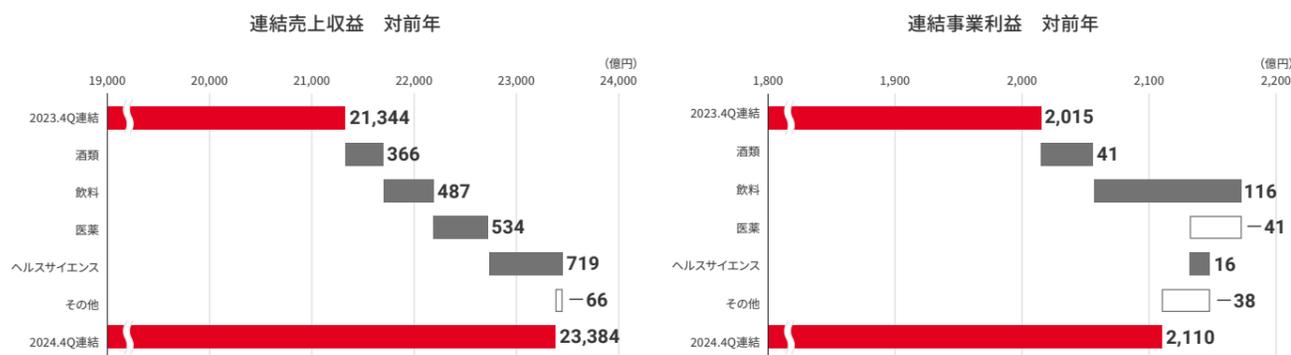
	2023年実績	2024年実績	対前年増減	対前年増減率
連結売上収益	2兆1,344億円	2兆3,384億円	2,040億円	9.6%
連結事業利益	2,015億円	2,110億円	95億円	4.7%
連結営業利益	1,503億円	1,253億円	-250億円	-16.6%
連結税引前利益	1,970億円	1,397億円	-573億円	-29.1%
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,127億円	582億円	-545億円	-48.3%

重要成果指標

ROIC	8.0%	4.1%		
平準化EPS	177円	172円	-5円	-2.8%

セグメント情報に記載された区分ごとの状況

	2023年実績	2024年実績	対前年増減	対前年増減率
連結売上収益	2兆1,344億円	2兆3,384億円	2,040億円	9.6%
酒類	1兆451億円	1兆817億円	366億円	3.5%
飲料	5,162億円	5,649億円	487億円	9.4%
医薬	4,419億円	4,953億円	534億円	12.1%
ヘルスサイエンス	1,034億円	1,753億円	719億円	69.6%
その他	278億円	213億円	-66億円	-23.6%
連結事業利益	2,015億円	2,110億円	95億円	4.7%
酒類	1,199億円	1,240億円	41億円	3.4%
飲料	524億円	640億円	116億円	22.2%
医薬	960億円	919億円	-41億円	-4.3%
ヘルスサイエンス	-125億円	-109億円	16億円	-
その他	-542億円	-580億円	-38億円	-



非財務指標

当社グループは、グループ経営理念および経営理念に基づく「2027年目指す姿」を実現するために非財務指標を設定しています。非財務指標は、当社グループがもつイノベーションを実現する組織能力をベースに、社会課題やお客様の期待へ応える取り組みを通じた価値創造の実現を指標でお示しするものです。当社グループは非財務指標を重要成果指標と位置付け役員報酬と連動させることで、株主・投資家との中長期的な価値を共有しています。

2022-24年までの非財務指標と実績

項目	テーマ	非財務指標	2022年実績	2023年実績	2024年実績
環境	気候変動	GHG削減率 (Scope1+2の合計) (2019年比)	18%	31%	34%
	容器包装	PETボトル用樹脂のリサイクル樹脂使用率 ^{*1}	8%	28%	36%
	水資源	水ストレスが高い製造拠点における水使用原単位 ^{*2} ライオン(豪州) (水使用原単位=水使用量÷生産量)	3.7kl/kl	3.3kl/kl	3.1kl/kl
健康	中期ヘルスサイエンス戦略進捗	「免疫機能の維持支援」達成度 ①日本国内のプラズマ乳酸菌機能認知率 ^{*3} ②プラズマ乳酸菌の継続摂取人数 ^{*4}	①32% ②64万人	①31% ②78万人	①30% ②78万人
		「免疫・脳機能・腸内環境領域における新価値創造」浸透度および「医領域との協働推進」達成度	非開示 ^{*10}	非開示 ^{*10}	非開示 ^{*10}
従業員	組織風土	従業員エンゲージメントスコア ^{*5}	70	70	71
	多様性	「多様性向上」達成度 ①日本国内女性経営職比率 ^{*6} ②日本国内キャリア採用比率 ^{*7,8}	①10.6% ②27.3%	①13.6% ②45.4%	①15.9% ②42.9%
	労働安全衛生	休業災害度数率 ^{*9}	1.00	1.36	0.97

2025年からの非財務指標

項目	テーマ	非財務指標	2025年目標	2027年目標
健康	ヘルスサイエンス戦略	グループのヘルスサイエンス商品を通じた社会的インパクト 関連商品の販売を通じたリーチ人数+啓発活動によるアプローチ人数	1億2,500万人	1億3,500万人
		免疫市場規模拡大への貢献度(プラズマ乳酸菌) 関連商品の販売を通じたリーチ人数+啓発活動によるアプローチ人数	245万人	305万人
	医薬戦略	グローバル品の主要国における上市状況	製品・適応別上市国数	製品・適応別上市国数
	医とヘルスサイエンス協働推進	医とヘルスサイエンスの協働取組達成度	非開示 ^{*10}	非開示 ^{*10}
コミュニティ	つながりの創出	事業を通じた社会への前向きな力創出の貢献度 農家支援や環境保全に配慮した農法などを通じた主要原料産地の持続性支援	各活動の目標値	各活動の目標値
環境	気候変動	GHG排出量削減率 対2019年Scope1+2排出量削減率	28%	42%
	容器包装	国内におけるリサイクルPET樹脂使用比率	40%	50%
	水資源	水ストレスが高い製造拠点における水使用原単位 ライオン(豪州) (水使用原単位=水使用量÷生産量)	2.4L/L未滿	2.4L/L未滿
人的資本	従業員エンゲージメント理念・パーパスへの共感・実践	CSVの実践スコア エンゲージメント調査における「CSV実践インデックス」	72	75
		従業員エンゲージメントスコア エンゲージメント調査における「持続可能なエンゲージメント」	72	75
	従業員の健康	LTIRスコア	2.50	2.00
		プレゼンティーズム	63.6%	66.5%
	多様性	国内女性経営職比率	18%	24%

※1 キリンビール、キリンパレージ、メルシャンの3社で製品の包装に使用したPET樹脂を算定対象としています。
 ※2 水ストレスが高い製造拠点とは、Aquaduct (国際環境NGOの世界資源研究所 (WRI) が公表している、世界各地の干ばつ・洪水などのリスクを地図上で確認するツール) のWater stressとWRFのBaseline Water Depletionを基に当社が定義した工場であり、対象工場は、ライオンのTooheys Brewery/James Boag Brewery/Castlemaine Perkinsの3拠点です。
 ※3 2025年より目標項目を「グループのヘルスサイエンス商品を通じた社会的インパクト (2025年目標→1億2,500万人)」に変更
 ※4 2025年より構成指標を「免疫市場規模拡大への貢献度(プラズマ乳酸菌) (2025年目標→245万人)」に変更
 ※5 2025年より構成指標を「CSVの実践スコア(2025年目標→72)」に変更。グループ内で生産・物流機能を有する主要なグループ会社を対象とします。工場構内のパートナー会社も含めます。
 ※6 日本国内の女性経営職比率の集計対象は、キリンホールディングス株式会社原籍社員としています。ただし、執行役員および再雇用者は含まれません。当社では経営職を、他の民間企業で用いられている管理職(労働者を指揮し、組織の運営に当たる者)などの呼び方と同程度の職位と定義しています。
 ※7 2025年より構成指標を「LTIRスコア(2025年目標→2.50)」に変更
 ※8 日本国内のキャリア採用比率の集計対象は、キリンホールディングス株式会社原籍社員としています。
 ※9 2025年より構成指標を「プレゼンティーズム(2025年目標→63.6%)」に変更
 ※10 知的財産に関連する内容等を含むため、具体的な構成指標と目標水準は戦略上非開示としています。

CSVコミットメント2022-2024年実績

「CSVコミットメント」は、「グループ・マテリアリティ・マトリックス」を踏まえてグループ経営理念を社会的存在意義に翻訳した「CSVパーパス」の実現に向けて、各事業が取り組む中長期のアクションプランです。社内管理上は、年度目標を設定しており、その実行状況を四半期ごとにモニタリングし、キリンホールディングス取締役会にも報告しています。

酒類メーカーとしての責任

経営諸課題		特に貢献するSDGsターゲット	CSVコミットメント							
中項目	テーマ		アプローチ(社会的・経済的価値)	成果指標	会社/部門	目標値	目標年	2022年実績	2023年実績	2024年実績
適正飲酒啓発		3.5	お客様に適正な飲酒の情報を提供し、適正飲酒啓発を推進することで、アルコールの有害摂取の根絶に繋げるとともに、酒類を製造・販売する企業グループとしての社会的責任を果たし、酒類事業環境の維持継続に繋がります。	適正飲酒啓発プログラムへの参加者数、飲酒マナー・スロードリンク動画やホームページ啓発コンテンツの訪問数	キリンビール	75万人	2022年～2024年累計	106万人	15万人	確認中
				メルシャン	7,200人	2022年～2024年累計	4,530人	6,179人	7,116人	
				ライオン	10万人	2022年～2024年累計	4.2万人	5.2万人	2.2万人	
				キリンホールディングス CSV戦略部	13.5万人	2022年～2024年累計	8.1万人	6.1万人	2.1万人	
アルコール関連問題への対応	ノン/低アルコール販売の拡大	3.5	ノンアルコール・低アルコール商品の提供を通じて、お客様の目的に応じた選択肢を拡充し、お客様のアルコール摂取量のコントロールを支援するとともに、ノンアルコール・低アルコール商品による事業成長に繋がります。	ノンアルコール製品販売数量の伸長率	キリンビール	117% (2021年比)	2024年	93% (2021年比)	87% (2021年比)	78% (2021年比)
				ノンアルコール・低アルコール製品販売数量の伸長率	メルシャン	115% (2021年比)	2024年	79% (2021年比)	58% (2021年比)	59% (2021年比)
				ノンアルコール・低アルコール製品の売上構成比率	ライオン	ニュージーランド: 4% オーストラリア: 7%	2024年	ニュージーランド: 2.7% オーストラリア: 4%	ニュージーランド: 2.5% オーストラリア: 3.6%	ニュージーランド: 2.9% オーストラリア: 3.5%
純アルコール表示		3.5	アルコール量を表示することで、お客様がアルコール摂取量を把握し、コントロールすることを支援するとともに、酒類を製造・販売する企業グループとしての社会的責任を果たし、酒類事業環境の維持継続に繋がります。	純アルコール量のラベル表示	キリンビール	表示開始	2022年	表示開始	一部海外ブランドを除いて表示完了	一部海外ブランドを除いて表示完了
				ライオン	100%	2024年	100%	100%	100%	

健康

経営諸課題	特に貢献するSDGsターゲット	CSVコミットメント							
		アプローチ(社会的・経済的価値)	成果指標	会社/部門	目標値	目標年	2022年実績	2023年実績	2024年実績
食の安全・安心の確保	2.4	国際認証(GFSI認証スキーム・ISO22000スキーム)を活用した衛生管理、食品安全管理体制をグローバルに推進し、お客様の安全と安心に繋がります。	食品安全の国際認証(GFSI認証及びISO22000)取得率	キリンホールディングス品質保証部	96%	2024年	87%	93%	96%
Unmet Medical Needsを満たす医薬品の提供	3.8	ひとりでも多くの患者さんにlife changing valueのひとつとしてのCrysvitaを提供し、患者さんの健康と福祉に貢献することで、事業の拡大に繋がります。	Crysvitaの上市国・地域数	協和キリン	50カ国・地域以上	2025年	40カ国・地域	46カ国・地域	52カ国・地域
免疫機能の維持支援 生活習慣病の予防支援	3.3	日本発の免疫研究の社会実装によって、世界の人々の健康に貢献します。プラズマ乳酸菌によりお客様の免疫機能の維持支援を行い、正しい免疫ケアの習慣化を促し、グループ資産を活かした商品展開により、国内外の新たな市場の開拓へと繋がります。	プラズマ乳酸菌の機能認知率	キリンホールディングスヘルスサイエンス事業部	50% 45%	2027年 2024年	32%	31%	30%
			プラズマ乳酸菌の国内外の継続摂取人数		190万人	2024年	64万人	78万人	78万人
	3.3 3.4	健康領域の商品を開発・育成し拡大していくことで、普段の食生活を通じたお客様の健康維持に貢献し、事業の成長へと繋がります。	健康に貢献する商品の売上高構成比	キリンビバレッジ	49%	2024年	45%	49%	49%
			摂り過ぎない健康商品の売上高		110% (2021年比)	2024年	101% (2021年比)	112% (2021年比)	122% (2021年比)
ヘルスサイエンス領域商品の売上高	145% (2021年比)	2024年	107% (2021年比)	147% (2021年比)	163% (2021年比)				
免疫機能の維持支援	3.3 3.4	免疫機能の維持支援に繋がるプラズマ乳酸菌を使用した商品や生活習慣病の予防支援に向けた無糖・無脂肪・低脂肪商品を通じて、お客様の健康維持に貢献し、事業の成長へと繋がります。	健康に貢献する商品の売上高	小岩井乳業	120% (2021年比)	2024年	106% (2021年比)	106% (2021年比)	117% (2021年比)
			脳機能のパフォーマンス向上と衰え予防の支援	2.2 3.3 3.4 9.5	粉ミルクから健康食品まで幅広い市場に対し、高品質のヒトミルクトオリゴ糖(HMO)を供給し、幅広い地域・年齢層のお客様の健康増進に貢献することで、事業の成長へと繋がります。	HMO配合製品(粉ミルク、健康食品など)の国内外の使用人数	協和発酵バイオ	200万人	2027年
健康経営の実現	3.4	お客様に「健康」をお届けする企業グループとして、従業員やその家族が、これからの人生を健康でこころ豊かに過ごし、従業員が個々の能力を発揮できる環境の構築を目指します。	対象会社 ^{※1} におけるプレゼンティーズム ^{※2} の調査スコア	キリンホールディングス人財戦略部	2022年より改善	2024年	62.55	63.29	63.60
対象会社 ^{※1} における適正体重維持者率	2020年(63.8%)より向上	2024年	63.9% (2021年実績)		64.3% (2022年実績)	64.6% (2022年実績)			
国内事業会社におけるAUDIT8点未満の従業員の割合	73%以上	2024年	72.5%	71.6%	71.7%				
脳機能のパフォーマンス向上と衰え予防の支援	2.2 3.4 9.5	脳機能サポート素材であるシチコリンを供給することで、患者さんへの処方と、健康食品市場の脳機能へのニーズに応えて、お客様の健康的な生活を支援し、市場の拡大へと繋がります。	シチコリン配合製品(医薬品・健康食品など)の国内外の使用人数	協和発酵バイオ	400万人	2027年	153万人	191万人	237万人

※1 キリンホールディングス/キリンビール/キリンビバレッジ/メルシャン/協和発酵バイオ/協和キリン
 ※2 健康の問題を抱えながら仕事をやっている状態のこと。

CSVコミットメント2022-2024年実績

コミュニティ

経営諸課題	特に貢献するSDGsターゲット	CSVコミットメント							
		アプローチ (社会的・経済的価値)	成果指標	会社/部門	目標値	目標年	2022年実績	2023年実績	2024年実績
人権の尊重	8.7 8.8 12.7	サプライチェーンの人権と現代奴隷に対処するため、豪州現代奴隷法を順守します。	豪州現代奴隷法の順守率	ライオン	100%	2024年	100%	100%	100%
	8.7 8.8 12.6	主要原材料のサプライチェーンにおける人権課題のリスク低減、クライシス発生防止に取り組み、持続可能な原材料の調達に繋がります。	人権リスクが高い農産物のサプライチェーンに対する継続的な人権デューデリジェンスの実施(開始)件数	キリンホールディングス調達部	3件	2022年～2024年累計	1件	1件	1件
原料生産地と事業展開地域におけるコミュニティの持続的な発展	2.3 17.17	日本産ホップ栽培を取り巻く課題解決を通じて、地域社会・経済の活性化に貢献し、原料生産の持続可能性と事業の成長に繋がります。	日本産ホップ生産量	キリンビール	100t	2027年	105t	78t	81t
	2.3 4.5 17.16	「午後の紅茶」におけるレインフォレスト・アライアンス認証取得の拡大を通じて、スリランカの紅茶農園の持続的発展と安定的な調達に繋がります。	スリランカ紅茶農園の持続的な発展に向けたレインフォレスト・アライアンス認証取得支援農園数	キリンビバレッジ	大農園：15 小農園：5,350	2022年～2024年累計	大農園：4 小農園：9	大農園：0 小農園：620	大農園：5 小農園：3,389
	2.3 15.4 17.17	高品質なブドウの栽培と適切な農地拡大を通じて、環境保全や地域の農業・経済活性化に貢献し、原料生産の持続可能性と安定的な調達に繋がります。	自社管理畑のブドウ収穫量	メルシャン	160t	2024年	167t	154t	124t
	12.6 17.17	ビジネスパートナーと共に、原材料調達の透明性を高め、サプライチェーンの持続可能性向上に繋がります。	重要サプライヤーのSEDEX (または同等の認証) 順守率	ライオン	95%	2024年	68%	86%	96%
ウェルビーイングを育むつながりと信頼の創出	11.a	「午後ティー HAPPINESSプロジェクト」を通じて、復興に向けて前へ進む方々と全国の応援の気持ちをつなぐことで、こころ豊かな社会の実現に貢献し、「午後の紅茶」ブランドの成長に繋がります。	「午後ティー HAPPINESSプロジェクト」商品販売数量	キリンビバレッジ	115% (2021年比)	2024年	120% (2021年比)	130% (2021年比)	75% (2021年比)
	11.a	ワインを通じて、人と人とのつながりを創出することで、お客様に笑顔あふれる楽しい時間を提供し、ブランド価値の向上と事業基盤の強化に繋がります。	日本におけるワイン飲用量	メルシャン	32.3%	2024年	30.7%	28.5%	27.0%
	11.a	コミュニティ投資パートナーと共に、お客様や地域の方々のコミュニティを通じて、人々の心の健康に貢献します。	コミュニティ投資プログラムによるリーチ人数	ライオン	8,000人	2022年～2024年累計	2,498人	2,737人	7,614人
	11.a	サッカー応援を通じて人々の心と体の健康をサポートすることで、こころ豊かな社会の実現に貢献し、企業ブランド価値の向上に繋がります。	「キリンファミリーチャレンジカップ」の全国開催と、参加者調査「人・社会とのつながり」スコア	キリンホールディングスマーケティング戦略部	・全国4会場で実施 ・参加者調査項目「人・社会とのつながり」イメージ：平均7割以上	2023年～2024年累計	・2会場で実施 ・「人・社会とのつながり」イメージ：97.8%	・2会場で実施 ・「人・社会とのつながり」イメージ：97.6%	
食に関わる経済の活性化	8.9 11.a 17.17	クラフトビールカテゴリーの拡大を通じて、お客様のビールの楽しみをを広げ、ビール文化や食文化を発展させることで、ビジネスパートナーや産業の活性化に貢献し、事業の成長に繋がります。	日本全体のクラフトビール市場規模	キリンビール	150% (2021年比)	2024年	115%	124%	確認中
	2.3 4.5 17.16	「午後の紅茶」のブランド活動を通じて、日本の紅茶市場の活性化に貢献することで、スリランカ産茶葉の購入量を増やし、スリランカの紅茶産業の発展に貢献し、事業の成長に繋がります。	清涼飲料市場(ドライ)内における紅茶市場の構成比	キリンビバレッジ	4.91%	2024年	4.81%	4.76%	4.88%
	8.9 11.a 17.17	シャトー・メルシャンのワイナリーを通じて、所在地におけるコミュニティの創出・活性化により、産地や日本ワイン産業の振興に貢献し、事業の成長に繋がります。	日本ワインの認知率	メルシャン	31.4%	2024年	目標を設定	28.7%	31.1%

環境

経営諸課題	特に貢献するSDGsターゲット	CSVコミットメント								
		アプローチ (社会的・経済的価値)	成果指標	会社/部門	目標値	目標年	2022年実績	2023年実績	2024年実績	
持続可能な生物資源の利用	2.3 4.6 15.4	レインフォレスト・アライアンス認証の取得支援を拡大し、生産地における環境問題などを解決することで、紅茶葉の安定調達に繋がります。	スリランカにおけるレインフォレスト・アライアンス認証取得支援農園数	キリンビバレッジ	大農園：15 小農園：5,350	2022年～2024年累計	大農園：4 小農園：9	大農園：0 小農園：620	大農園：5 小農園：3,389	
	紙	15.4	FSC®認証紙の調達などを通じて、森林破壊の可能性がある原材料の持続可能性確保に繋がります。	紙製容器包装でのFSC認証紙または古紙の使用率 ^{※3}	キリンビール	100%	2024年	100%	100%	100%
					キリンビバレッジ	100%	2024年	100%	100%	100%
持続可能な水資源の利用	12.3	製品廃棄物の削減や再資源化を推進し、生産活動で発生するフードウェイストの削減に繋がります。	製品廃棄物削減率	キリンビール	50% (2015年比)	2024年	50%以上達成	50%以上達成	50%以上達成	
				キリンビバレッジ	50%以上 (2015年比)	2030年	50%以上達成	50%以上達成	50%以上達成	
容器包装資源の持続可能な循環	6.4	事業活動における水使用量を削減するとともに、水源保護活動等を行うことで、水資源の持続可能性確保に繋がります。	用水原単位	キリンビール	5.6m³/kl以下	2024年	5.6m³/kl以下	5.8m³/kl以下	5.5m³/kl以下	
				メルシャン ※藤沢工場	3.41m³/kl以下	2024年	3.54m³/kl以下	3.60m³/kl	3.51m³/kl	
				ライオン ※Tooheys, Castlemaine Perkins, James Boag, Pride	2.4kl/kl以下	2025年	3.6kl/kl以下	3.3kl/kl	3.1kl/kl	
				キリンビバレッジ ※湘南工場、信州ビバレッジ	2023年以下	2024年	1,950,000m³	1,750,655m³	1,873,762m³	
容器包装資源の持続可能な循環	12.4 14.1	リサイクル材・バイオマスなどの使用や新容器・サービスの開発に加えて、リサイクルシステム構築や事業展開地域における資源回収・リサイクルインフラ整備を行うことで、ペット資源循環の持続可能性向上に繋がります。	使用資材の削減量	キリンビール	50%	2027年	8%	28%	36%	
				キリンビバレッジ メルシャン						
気候変動の克服	7.2 13.1	早期にRE100を達成し、自社の使用エネルギーを100%再生可能エネルギー起源にすることに加えて、再生可能エネルギーを社会に広げ、ステークホルダーと共に脱炭素社会に寄与するビジネスモデルの構築に繋がります。	GHG (Green House Gas) 排出削減率：Scope1+2	キリンビール	55% (2019年比) 30% (2019年比)	2030年 2024年	10%	17%	30%	
				キリンビバレッジ	55% (2019年比) 17% (2019年比)	2030年 2024年	11%	16%	14%	
				メルシャン	55% (2019年比) 25% (2019年比)	2030年 2024年	6%	33%	48%	
				ライオン	55% (2019年比) 30% (2019年比)	2030年 2024年	26%	43%	43%	
				協和発酵バイオ	55% (2019年比) 32% (2019年比)	2030年 2024年	32%	47%	52%	
				協和キリン	55% (2019年比) 51% (2019年比)	2030年 2024年	42%	55%	64%	
気候変動の克服	7.2 13.1	早期にRE100を達成し、自社の使用エネルギーを100%再生可能エネルギー起源にすることに加えて、再生可能エネルギーを社会に広げ、ステークホルダーと共に脱炭素社会に寄与するビジネスモデルの構築に繋がります。	グループ全体の使用電力の再生可能エネルギー比率	キリンホールディングス CSV戦略部	100%	2040年	27%	42%	確認中	
				キリンホールディングス CSV戦略部	30% (2019年比)	2030年	8%	10%	確認中	

※3 各事業会社にて取り扱う紙製容器包装であり、対象は各事業会社にて定める。キリンビバレッジは今後も紙製容器包装にて、FSC認証紙の使用率100%を継続していく。海外対象会社は持続可能な紙資源の調達状況を確認し、今後の目標を設定していく。

CSVコミットメント2025年目標

キリングループは、3カ年固定の中期経営計画を廃止し、1年ごとにローリングする3年目標を策定するサイクルに変更しました。

「CSVコミットメント」も気候変動のように長期的な取り組みが必要なことから、長期目標を設定しているものを除き、

このサイクルに従って、今後目標設定サイクルを毎年、3年分アップデートしていきます。

激しい環境変化にも対応しながら、CSVパーパスの実現に向け引き続き取り組んでまいります。

酒類事業を営むキリングループとしての責任

経営諸課題	特に貢献するSDGsターゲット	CSVコミットメント				
		アプローチ	成果指標	会社/部門	目標値	目標年
アルコール関連問題への対応	3	お酒に適正な飲酒の情報を提供し、適正飲酒啓発を推進することで、アルコールの有害接種の根絶に繋げるとともに、酒類を製造・販売する企業グループとしての社会的責任を果たし、酒類事業環境の維持継続に繋がります	適正飲酒啓発プログラムの参加・閲覧数	キリンビール	2,000万人以上	2025~2027年累計
				メルシャン	8,550人	2025~2027年累計
				ライオン	Alcohol&Me (適正飲酒啓発)のエンゲージメント指数の向上(2026年比)	2027
	3	ノンアルコール・低アルコール商品の提供を通じて、お客様の目的に応じた選択肢を拡充し、お客様のアルコール摂取量のコントロールを支援するとともに、ノンアルコール・低アルコール商品による事業成長に繋がります	ノンアルコール・低アルコールの構成比増率	キリンビール	ノンアルコール・低アルコール構成比増	2027
ノンアルコール・低アルコールの飲用機会の拡大に繋がるような商品・SKUの上市やそれに繋がる活動			メルシャン	ノンアルコール・低アルコールの飲用拡大に繋がる4商品の上市とその活動	2027	

健康

経営諸課題	特に貢献するSDGsターゲット	CSVコミットメント				
		アプローチ	成果指標	会社/部門	目標値	目標年
免疫機能の維持支援 栄養へのアクセス向上	3	プラズマ乳酸菌入り商品を育成・拡大することで、免疫ケアの市場を確立するとともに、お客様の健康維持と事業の成長へと繋がります	プラズマ乳酸菌継続摂取人数	キリンビバレッジ	100万人	2027
生活習慣病の予防支援	3	無糖・減糖の商品を育成・拡大することで、日常の食生活を通じてお客様の健康維持に貢献するとともに、事業の成長へと繋がります	砂糖使用量削減	キリンビバレッジ	▲2,300t(2020年比)	2030
免疫機能の維持支援 生活習慣病の予防支援	3	“おいしい食品”を通じた「予防支援」の提供と免疫市場の拡大を通じ、食を通じた心と体の健康へ貢献し、事業の拡大を目指します	キリングループにおけるヘルスサイエンス商品を通じ、与えた社会的インパクト 下記①+②の合計 ①“種類別”で牛乳、加工乳、発酵乳、家庭用チーズの摂取人数 ②啓発活動でリーチした人数	小岩井乳業	94.5万人	2034
免疫機能の維持支援	3	“おいしい食品”を通じた「予防支援」の提供と免疫市場の拡大を通じ、食を通じた心と体の健康へ貢献し、事業の拡大を目指します	免疫ケア商品群の摂取人数	小岩井乳業	8.2万人	2034

経営諸課題	特に貢献するSDGsターゲット	CSVコミットメント				
		アプローチ	成果指標	会社/部門	目標値	目標年
心身のパフォーマンスの維持・向上の支援	2,3,9	健康食品などへの配合成分シニコリンを供給し、幅広い年代のお客様の脳機能をサポートし、生き生きとした健康的生活を支援します	シニコリン配合製品(健康食品、飲料など)の継続摂取者数および啓発活動でリーチした人数	協和発酵バイオ	160万人	2027
免疫機能の維持支援 生活習慣病の予防支援 心身のパフォーマンスの維持・向上の支援 栄養へのアクセス向上	3	自社商品を通じてお客様の健康課題解決に貢献し、自社の売上増加に貢献します	キリングループにおけるヘルスサイエンス商品を通じ、与えた社会的インパクト ①商品でリーチした人数	キリンホールディングスヘルスサイエンス事業部	35.2万人	2027
			健康課題の啓発活動を通じてお客様の各健康課題への意識向上に貢献し、自社の売上増加に繋がります			
免疫機能の維持支援	3	自社免疫商品を通じてお客様の土台の健康へ貢献し、自社の売上増加に貢献します	免疫市場規模拡大への貢献度 ①商品でリーチした人数	ブラックモアズ	25.3万人	2027
			免疫の啓発活動を通じてお客様の健康意識の向上に貢献し、自社の売上増加に繋がります			
栄養へのアクセス向上	2,3	健康教育を通じて、サプリメントの活用機会の創出と健康結果の改善を図ります	Blackmores Instituteが提供する信頼ある健康教育のタッチポイント数増加	ブラックモアズ	ヘルスケアプロフェッショナルへの教育タッチポイント数と教育モジュール提供数の合計を2026年以上に増加	2027
Life-changingな医薬品の創出と提供	3	社会的・経済的にインパクトの高い主要国でのグローバル品の上市状況を適応別・用法別に目標値を設定し、実績値を報告することで、Life-changingな医薬品の創出と提供に繋がる指標とする	社会的・経済的にインパクトの高い主要国(日本・米国・カナダ・イギリス・フランス・イタリア・ドイツ・スペイン)8か国における、Crysvita・Poteligeo・Libmeldy/Lenmeldyの適応別の上市状況	協和キリン	**4CRV_XLH(Adult): 8/8 CRV_XLH(Pediatric): 8/8 CRV_TIO: 6/8 POT_CTCL: 8/8 Libmeldy_PSLI: 6/8	2027
健康経営の実現	3	従業員とその家族が心身共に健康であることを基盤とし、従業員に挑戦する力が生まれ、成長を実感し生き生きと働き、個々の能力を発揮できる状態を目指します	プレゼンティーイズム	キリンホールディングス人財戦略部	66.5%	2027
			適正体重維持者率		66.0%	2027
			AUDIT ^{※1} 8点未満割合		73.0%	2027
食の安全・安心の確保	2	国際認証(GFSI認証スキーム・ISO22000スキーム)を活用した衛生管理、食品安全管理体制をグローバルに推進していきます	食品安全の国際認証(GFSI ^{※2} 認証及びISO22000)取得率	キリンホールディングス品質保証部	97%	2027
労働安全衛生の確保	3	企業競争力の源泉である人財が安全・安心に働くことができる職場をつくることで、全ての従業員が潜在能力を発揮し各事業の成長へとつなげます	LTIR ^{※3}	キリンホールディングス人財戦略部	2.00	2027

※1 Alcohol Use Disorders Identification Testの略。アルコール依存症スクリーニングテスト
 ※2 Global Food Safety Initiativesの略。世界規模で食品安全を改善する活動に取り組む非営利団体
 ※3 Lost Time Incident Rateの略。休業災害度数率
 ※4 CRV: Crysvita, POT: Poteligeo, XLH: X-linked hypophosphatemia(X染色体連鎖性低リン血症性くる病), TIO: tumor-induced osteomalacia(腫瘍性骨軟化症), CTCL: Cutaneous T-Cell Lymphoma(皮膚T細胞リンパ腫), PSLI: pre-symptomatic late infantile(臨床症状を伴わない乳児期遅発型)

CSVコミットメント2025年目標

コミュニティ

経営諸課題	特に貢献するSDGsターゲット	CSVコミットメント				
		アプローチ	成果指標	会社/部門	目標値	目標年
食に関わる経済の活性化	8,11,17	農場作業ボランティア参画を通じた産地への興味関心拡大により、ワイナリー周辺地域の経済活性化に寄与します	実際に産地を訪れるボランティア参加人数	メルシャン	1,700人	2027
	8,11,17	Visitor Centerおよび提供するサービスをより魅力的にして来場者数を増やすことで、当社の事業利益の向上を目指すだけでなく、ケンタッキーのバーボン産業界全体の集客力を高め、地域コミュニティでの消費拡大にも貢献します	①Visitor Centerへの来場者数 ②NPS (満足度)	フォアローゼズ	①10万人以上 ②75%以上	2027
ウェルビーイングを育むつながりと信頼の創出	11	各商品ブランドが、それぞれ掲げる社会課題解決に向けてブランドアクションを実行し、アクションに対するお客様の共感を商品展開機会の拡大と事業の成長に繋がります	コミュニティブランドのブランドアクションへの共感度	キリンビール	2026年以上	2027
	3	「免疫ケア習慣」の啓発活動を通じて、お客様・地域コミュニティの課題解決・緩和を支援するとともに、「免疫ケア習慣」の浸透にも繋がります	免疫ケアセミナーリーチ人数	キリンビバレッジ	2,000人	2027
	11	親しい人とゆっくりと楽しめるワインの特性を生かし、商品や提案を通じたアプローチにより、人とのつながりを感じられる場や豊かな時間を創出します	ワインカテゴリー活性化に繋がる商品提案と市場へのアプローチ	メルシャン	ワインカテゴリー活性化に繋がる10商品の上市と活動	2027
	3	患者中心を謳う協和キリンにとって大切なステークホルダーである患者さんに笑顔を届けることにより、ウェルビーイングを育むと共に事業の拡大に繋がります	社会的・経済的にインパクトの高い主要国(日本・米国・カナダ・イギリス・フランス・イタリア・ドイツ・スペイン)8か国における、Crysvita・Poteligeo・Libmeldy/Lenmeldyの適応別の上市状況	協和キリン	CRV_XLH(Adult) : 8/8 CRV_XLH(Pediatric) : 8/8 CRV_TIO : 6/8 POT_CTCL : 8/8 Libmeldy_PSLI : 6/8	2027
11	40年を超えるサッカー応援姿勢を強みに、サッカーを通じて家族や仲間とのつながりを深め、人の心によるこびを生み出す「キリンファミリーチャレンジカップ」など日本サッカー協会との協働により、人々の心と体の健やかさをサポートし、人と人がつながるこころ豊かな社会に貢献します	「キリンファミリーチャレンジカップ」の全国開催と、参加者調査「人や社会によいことをしている」スコア	キリンホールディングスマーケティング戦略部	①累計全国6会場で実施 ②参加者調査項目「人や社会によいことをしている」イメージ：平均で8割以上獲得	2027	
原料生産地と事業展開地域におけるコミュニティの持続的な発展	2,4,11,12,15,17	茶葉農家支援(環境再生型農業支援、人権チェックリスト、等)を通じて、紅茶生産農家のwell-being向上と持続的・安定的な茶葉調達の実現に繋がります	スコアカードの展開農園数	キリンビバレッジ	スリランカのキャンディエリアにおける、調達量および調達農園の50%以上をレインフォレスト・アライアンス認証取得支援農園、スコアカード実施農園とする	2030
	11	ワインの品質向上やワイナリーと産地の一体訴求を通じて、生産地の持続的な発展に寄与します	産地の名声向上に繋がる客観的な品質の証としてのコンクールにおける受賞獲得	メルシャン	日本ワインコンクールでのメダル受賞とそこに向けた活動：メダル受賞数20	2027

環境

経営諸課題	特に貢献するSDGsターゲット	CSVコミットメント				
		アプローチ	成果指標	会社/部門	目標値	目標年
持続可能な生物資源の利用	4,15	ワインの生産を通じたネイチャーポジティブ経営を実現します	30BY30自然共生サイトの認定取得とそれに向けた活動	メルシャン	30BY30自然共生サイトの認定取得とそれに向けた活動	2027
	15	調達と操業による自然への影響を最小限に抑え、依存関係を理解し、サプライチェーンを強化します	自然豊かな未来への当社の取り組みを反映するTNFDフレームワークに沿った開示の増加	ブラックモアズ	全ての気候情報開示をAFRS-2に準拠するとともに、20件以上の自然関連情報開示を行う	2030
	2,12	ジャストインタイムの追求(需給予測精度の向上、等)とそれでも余剰する商品はフードバンクを通じて有効活用し廃棄量を削減します	フードウェイスト発生削減率	キリンビバレッジ	60% (19年比)	2027
	12,13	限りある生物資源の有効活用と、廃棄物の効率的な回収及び容器包装由来の温室効果ガス管理強化によるScope3の管理を通じて責任ある企業としての役割を果たします	埋め立て廃棄物の削減	ブラックモアズ	工場から出る廃棄物の80%を埋め立て処分ではない方法で処理する	2030
持続可能な水資源の利用	6	事業活動における水使用量を削減するとともに、水源地保全活動等を行うことで、水資源の持続可能性確保に繋がります	持続可能な水資源利用の推進	ライオン	水ストレスの高い工場(XXXX, Tooheys, Boags)における用水原単位 2.4l/l未満	2027
			持続可能な水資源利用の推進	ライオン	水ストレスの高い工場(Fort Collins)における用水原単位 3.4l/l未満	2027
			水使用量の削減率	協和発酵バイオ	32% (2015年比)	2030
			水使用量の削減率 年度計画の進捗度	協和キリン	40% (2019年比)	2030
気候変動の克服	7,13	早期にRE100を達成し、自社の使用エネルギーを100%再生可能エネルギー起源にすることに加えて、再生可能エネルギーを社会に広げ、ステークホルダーと共に脱炭素社会に寄与するビジネスモデルの構築に繋がります	GHG排出削減率 (Scope1+2、19年比)	キリンビール	55%	2030
			キリンビバレッジ	55%	2030	
			メルシャン	55%	2030	
			ライオン	55%	2030	
			協和発酵バイオ	55%	2030	
			協和キリン	55%	2030	
			ブラックモアズ	50%	2030	
			コーク・ノースイースト	25%	2030	
グループ全体の使用電力の再生可能エネルギー比率	キリンホールディングスCSV戦略部	100%	2040			
GHG排出削減率 (Scope3、19年比)	キリンホールディングスCSV戦略部	30%	2030			
容器包装の持続可能な循環	12,14	ブランド横断で再生PETの使用を推進し、容器包装が持続的に循環する姿を目指すとともに、企業・ブランド価値向上に繋がります	リサイクルPET樹脂の割合	キリンビバレッジ	53%	2027
	12	容器包装量の削減を通じて資源の安定確保に貢献し、資源を利用する企業グループとしての社会的責任を果たし、企業活動の維持継続に繋がります	プラスチック製容器包装の削減量	メルシャン	プラスチック樹脂20t削減 (2023年比)	2027
	13	使用するアルミニウムの製造時に排出されるCO ₂ の量を削減します	iMUSEサプリメントにおける非金属包材への切替に向けた実機評価の実施	キリンホールディングスヘルスサイエンス事業部	非金属包材の採用	2027

用語集

用語	意味
SKU (エスケュー)	Stock Keeping Unit (ストック・キーピング・ユニット) の略で、物流や小売の世界で使われている商品の最小単位です。キリングループでは、商品の種類の数という意味として使用しています。例えば、中身が同じであっても1缶当たりの容量が異なる場合や、1缶だけで売られる場合と複数缶がセットで売られる場合とがあり、それらは全て別のSKUとしてカウントされます。
ダブルヘルスクレーム	「ヘルスクレーム」は、食品やその食品が含む栄養素・機能性物質が健康に効果のあることを示す表示のことで、キリングループの機能性表示食品の中には「免疫ケア」と「内臓脂肪ダウン」など2つの異なる機能を表示しているものがあり、これを「ダブルヘルスクレーム」と呼んでいます。
「土台の健康づくり」と「個別の健康課題」	<p>キリングループでは、健康課題の解決にあたり、人間が元来もっている力を高めるという当社グループ独自のアプローチを大事にしています。この考えに基づき、人種や性別、年齢に関係なく全ての人にとって重要な免疫力に注目した「土台の健康づくり」と、生活習慣病や脳機能といった「個別の健康課題」解決の両面に取り組んでいます。</p> <p>独自のアプローチによる健康課題の解決</p> <p>従来のように個別の健康課題にそれぞれ対処するのではなく、人間が元来もっている力を高めるという考えに基づいた、土台の健康づくりと個別の健康課題、両方から働きかける独自のアプローチにより、根本的かつ効果的な解決に導く。</p>
パイプライン	製薬業界における「パイプライン」とは、医療用医薬品の新薬候補のことで、新薬候補群全体を表すこともあれば、候補品自体を指すこともあります。次世代の新薬となりうるパイプラインの拡充を図ることは、メーカーが継続的に存続・成長するために非常に重要です。
プラズマ乳酸菌	<p>「プラズマ乳酸菌」は、健康な人の免疫の維持をサポートする乳酸菌です。世界で初めて[*]免疫の司令塔pDC (プラズマサイトイド樹状細胞) に働きかけることが論文で報告されています。キリン、小岩井乳業、協和発酵バイオが共同で研究を進め、国内外の大学・研究機関の協力のもと、これまで34報の論文発表および多数の学会発表を行っています。「乳酸菌L.ラクティス プラズマ」と同義。</p> <p>※ヒトでpDCに働きかけることが世界で初めて論文報告された乳酸菌 (PubMed及び医中誌Webの掲載情報に基づく)</p>

GHG排出量算定根拠

キリングループでは、GHG排出量 (Scope1+2) の算定範囲を以下のように設定しています。

(1) 算定方法

- 燃料および蒸気については、日本の「地球温暖化対策の推進に関する法律」および「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」の単位発熱量および排出係数を用いて算定しています。ただしライオンについては、オーストラリア政府・ニュージーランド政府・アメリカ政府が定める単位発熱量および排出係数を用いて算定しています。
- 電力については、購入電力量に公表されている各電力事業者の排出係数を乗じて算定しています。日本の場合には電力事業者別の調整後排出係数を使用しています。電力事業者別の排出係数が入手できない場合にはIEA公表の国別排出係数を使用しています。
- GHG排出量には、外部販売した電力の発電に伴うGHG排出量を含んでいます。

(2) 算定範囲

- 以下企業を対象としています。(会社は当時の財務報告における事業セグメントに基づき分類)

(3) 基準年の算定

- 基準年である2019年のGHG排出量は、その後の事業買収や事業譲渡などの重大な構造的変化を反映し、遡及的に再計算を行っています。

2023年実績算出における算定範囲

事業	会社
国内ビール・スピリッツ事業	キリンビール、キリンディスティラリー、スプリングバレーブルフリー、ブルックリンブルフリー・ジャパン、永昌源、麒麟啤酒 (珠海)
国内飲料事業	キリンビバレッジ、信州ビバレッジ、北海道キリンビバレッジ、キリンメンテナンス・サービス、キリンビバレッジサービス各社 (北海道、仙台、東京、中部、関西)、キリンビバックス、東海ビバレッジサービス
オセアニア酒類事業	ライオン、New Belgium Brewing
医薬事業	協和キリン、協和キリンフロンティア、協和キリンプラス、協和麒麟 (中国) 製薬、Kyowa Kirin
その他事業 (全社を含む)	メルシャン、日本リカー、第一アルコール、ワインキュレーション、インターフード、ベトナムキリンビバレッジ、フォアローゼズディスティラリー、協和発酵バイオ、協和ファーマケミカル、協和エンジニアリング、BioKyowa、上海協和アミノ酸、Thai Kyowa Biotechnologies、キリンホールディングス、キリンビジネスエキスパート、キリンビジネスシステム、小岩井乳業、キリンエコー、キリンアンドコミュニケーションズ、キリンエンジニアリング、キリンシティ、キリングループロジスティクス

会社情報

(2024年12月31日現在)

会社名

キリンホールディングス株式会社
Kirin Holdings Company, Limited

従業員数

1,067人(単独)、31,934人(連結)

設立

1907年2月23日
※2007年7月1日持株会社化に伴い「麒麟麦酒株式会社」より商号変更

資本金

102,045,793,357円

証券コード

2503(上場市場=東証プライム)

本社所在地

〒164-0001 東京都中野区中野四丁目10番2号
中野セントラルパークサウス

株主名簿管理人

三菱UFJ 信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

大株主(上位10位)

株主名	所有株式数(千数)	発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する所有株式数の割合(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	138,892	17.11
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	57,287	7.05
明治安田生命保険相互会社 (常任代理人株式会社日本カストディ銀行)	31,346	3.86
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 (常任代理人株式会社みずほ銀行決済営業部)	20,700	2.55
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234 (常任代理人株式会社みずほ銀行決済営業部)	16,569	2.04
SMBC日興証券株式会社	16,136	1.98
THE NOMURA TRUST AND BANKING CO., LTD. AS THE TRUSTEE OF REPURCHASE AGREEMENT MOTHERFUND (常任代理人シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	12,729	1.56
日本証券金融株式会社	10,132	1.24
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRDAC ISG(FE-AC) (常任代理人株式会社三菱UFJ銀行)	8,904	1.09
BNYM AS AGT/CLTS NON TREATYJASDEC (常任代理人株式会社三菱UFJ銀行)	8,067	0.99
計	320,766	39.51

(注) 当社は、自己株式102,244千株(11.18%)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

(注) 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社から、2024年1月10日付で、同社および日興アセットマネジメント株式会社を共同保有者とする大量保有報告書(変更報告書)が提出されておりますが、当社として2024年12月31日現在における当該法人の実質所有株式数を完全に把握できませんので、上記「大株主の状況」では考慮していません。

グループ会社情報

(2024年12月31日現在)

連結子会社 177社

麒麟麦酒株式会社	麒麟(中国)投資有限公司
メルシャン株式会社	麒麟啤酒(珠海)有限公司
株式会社永昌源	台湾麒麟啤酒股份有限公司
キリンディスティラリー株式会社	Kirin Europe GmbH
スプリングバレーブルワリー株式会社	キリンビバレッジ株式会社
キリンシティ株式会社	Coca-Cola Beverages Northeast, Inc.
LION PTY LTD	Interfood Shareholding Company
Kirin Foods Australia Holdings Pty Ltd	協和キリン株式会社
Lion-Beer, Spirits & Wine Pty Limited	Orchard Therapeutics Limited
Lion (NZ) Limited	Kyowa Kirin Asia Pacific Pte. Ltd.
Lion Nathan Finance (New Zealand) Limited	株式会社ファンケル
Lion Nathan USA Inc.	協和発酵バイオ株式会社
New Belgium Brewing Company, Inc.	小岩井乳業株式会社
Lion Global Craft Beverages Pty Ltd	Blackmores Limited
Little World Beverages, Inc.	Kirin Health Science Australia Pty Ltd
Fermentum Pty Ltd	Kirin Holdings Australia Pty Ltd
Four Roses Distillery, LLC	Kirin Holdings Singapore Pte,Ltd.
Kirin Brewery of America, LLC	その他142社

持分法適用会社 28社

株式会社ヤッホーブルーイング	
Brooklyn Brewery Corporation	
SAN MIGUEL BREWERY INC.	その他25社